

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 農地の利用集積は概ね進んでいるが、さらに地域の中心となる経営体(担い手)への集積を図っている。
- 高齢化等により農業従事者は減少しているため、農業後継者や新規就農者の定着・育成を図る。

【支援内容・背景】

- 高齢化等による個人経営の離農者増加を受けて、農地の受け手となる中心経営体の経営発展に向けた支援を強力に推進する必要。
- 助成対象者は水田作等を営む法人。今後、さらに経営面積を拡大することとしており、大規模化による効率的経営のモデルとして積極的に支援していく。



助成対象者「有限会社 小久井農場」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成15年 法人化(有限会社)
- 令和2年 経営改善計画の認定

《事業活用の背景》

- 経営規模の拡大のためには、農作業の更なる効率化が必要。
- 作付面積の拡大に向け、精米作業の効率化に資する精米プラントを導入。

【事業実施時の状況】
〈R3年度〉

- 売上高 176百万円
- 経営面積 167ha

《事業による整備内容》

- 精米プラント一式
事業費 50,866千円
(国費 13,872千円)



【現在の経営状況】
〈R6年度〉

- 売上高 190百万円 (107%)
- 経営面積 176ha (105%)

事業の
効果

《対象者》 品質向上による米の付加価値額の増加が実現。
《地 区》 中心経営体の経営発展により農地集積が加速するとともに、法人化・大規模化のモデルが確立。